

排水器具取付説明書



バスタブ オフリー

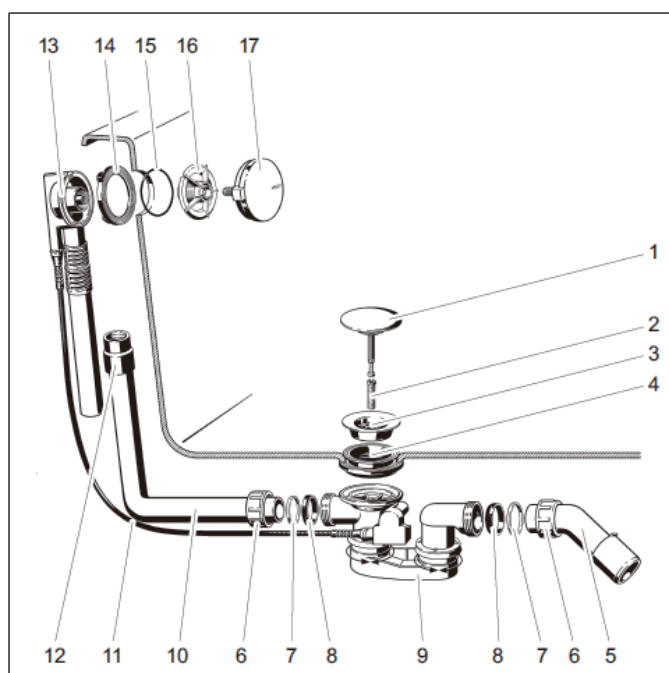
本来の目的にお使い下さい。

排水器具はオーバーフローホール付きのバスタブに取り付けるためのものです。通常の家庭で使われる排水で70℃までの温水を流すことができます。その他の液体は流さないで下さい。衛生器具・排水器具や配管材料を傷める恐れのある洗浄剤で特にpHが4以下の様な有害物質は流さないで下さい。建物の条件を考慮の上、専門業者様にて施工願います。

注意：

1. 操作ノブは一定以上回転させた後、無理に力を加えないで下さい。操作ノブをある程度回しても（閉状態から約180度）プラグの上がり方が小さいときは高さ調整ビスを再度調整して下さい。ノブを無理やり回すと内部のギアが破損する恐れがあります。
2. 操作ノブの取付はカチッと音がするまで押し込んでください。押し込みが足りないと空回りする可能性があります。

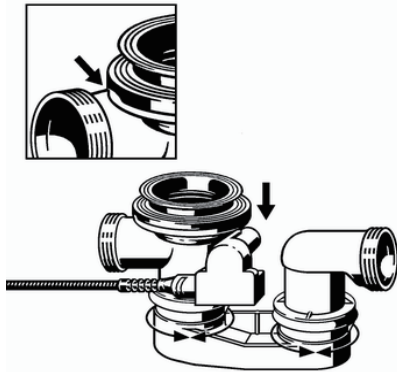
■システム構成



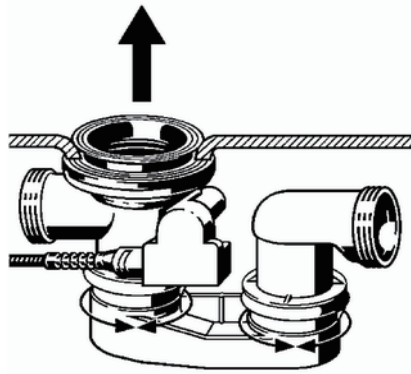
■部品の名称

- 1 - プラグ
- 2 - 固定ビス
- 3 - バルブトップ
- 4 - ダブルシール
- 5 - エルボー
- 6 - 連結ナット
- 7 - 滑りリング
- 8 - シール
- 9 - 作動バルブ／トラップ
- 10 - オーバーフローパイプ
- 11 - ワイヤ
- 12 - スリーブ
- 13 - オーバーフローバルブ
- 14 - 裏側シール
- 15 - O-リング
- 16 - フランジ
- 17 - 操作ノブ

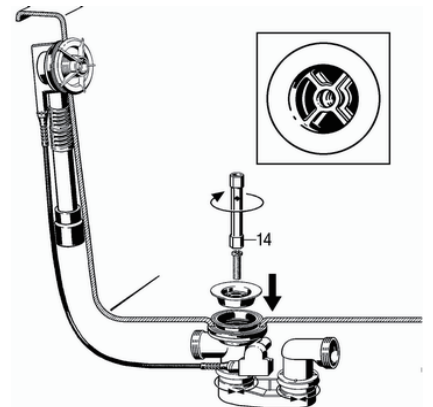
■取付方法



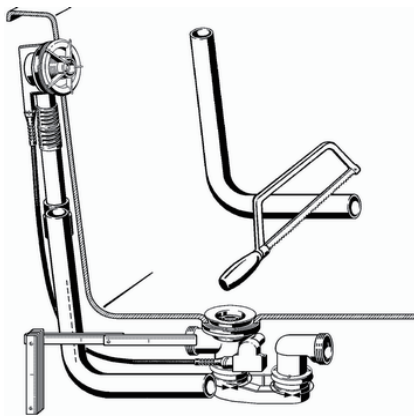
ダブルシール④を作動バルブ⑨に取り付けます。



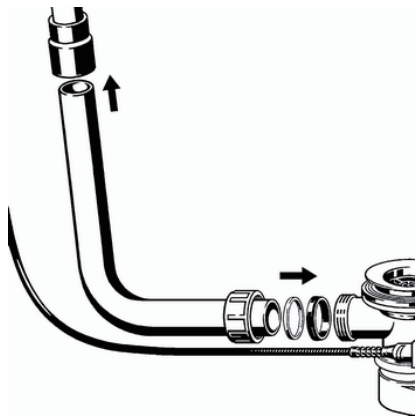
ダブルシール④をバスタブ下側から排水ホールに差し込み、上側に引き出します。形を整えて下さい。



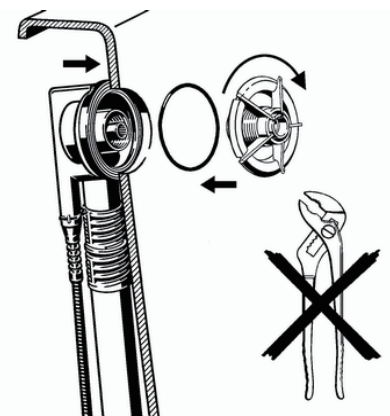
バルブトップ③を置き、固定ビス②を手で締めます。電動工具は使わないで下さい。



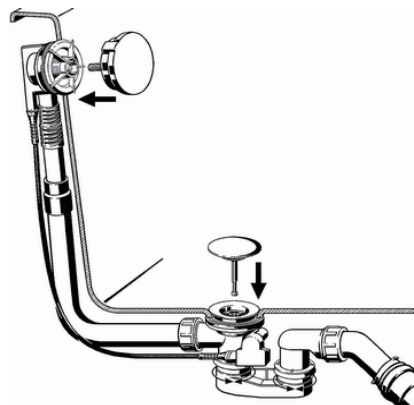
バスタブに合わせ、オーバーフローパイプ⑩のパイプ長さを調整します。長いときは鋸で切断します。



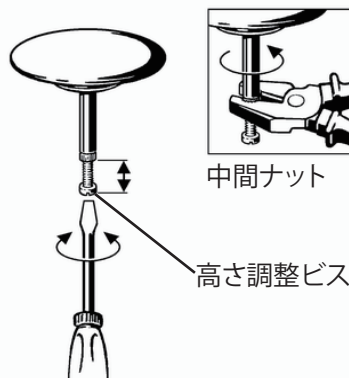
バスタブに合わせ、オーバーフローバルブ⑬とオーバーフローパイプ⑩を取り付けます。連結ナット⑥と滑りリング⑦とシール⑧を取り付けます。



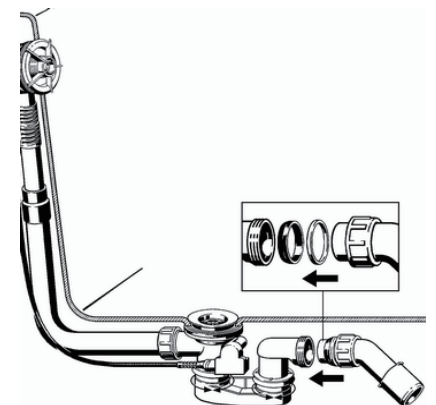
オーバーフローバルブ⑬+裏側シール⑭をバスタブのオーバーフローホール裏側に当て、内側からフランジ⑬で固定します。フランジ⑬裏側のO-リング⑮を確認してください。



操作ノブ⑰をフランジ⑬に押し込みます。必ず手で止まるまで押し込んでください。決してハンマーを使わないで下さい。

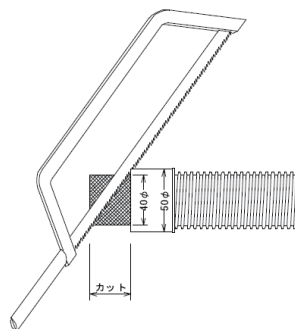


高さ調整ビスを調整してください。操作ノブ⑰を回して閉位置の時にプラグ①がキッチリとが閉まり、開位置の時にプラグ①が十分持ち上がるように調整してから、バルブトップ③にはめて下さい。調整終了後中間ナットを締めてビスが緩まないようにして下さい。



トラップ⑨の先にエルボー⑤を取り付けて下さい。先に連結ナット⑥を入れてからエルボーの凹部に滑りリング⑦とシール⑧を取り付けて下さい。連結ナット⑥は必ず手でしっかりと締めて下さい。

■トラップと排水パイプの接続



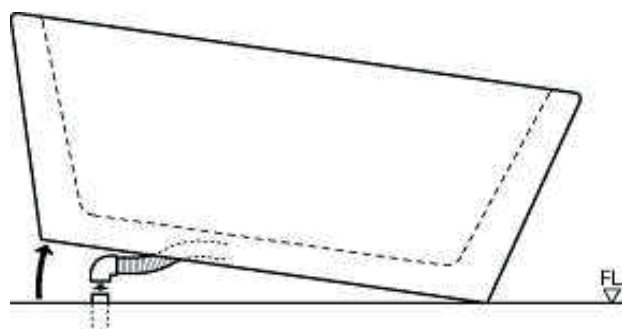
同梱のフレキシブルパイプ (L=500mm) の先端φ40の部分を実に切断してください。



同梱のフレキシブルパイプ (L=500mm) の口ゴムに、エルボ⑤を差し込んでください。必ず図のように奥まで差し込んでください。



同梱のリップシールを使って、フレキシブルパイプと塩ビ管を接続してください。塩ビ管との接続には呼び径 50 のエルボソケットをお勧めします。フレキシブルパイプの先端は、リップシールにギュッと思い切り押し込んでください。
※90° エルボソケットは付属しておりません。



バスタブをゆっくりと戻しながら、エルボソケットと床からの立ち上げ排水管を接続してください。接着剤の乾燥を確認して、さらにゆっくりとバスタブを戻し、所定の位置に据え付けてください。パイプの状態に十分注意してください。

※注意

床からの立ち上げ排水管は呼び径50のVP/VU管を使用してください。
立ち上げ位置は、別途排水図を参考にしてください。
床立ち上げパイプは、あらかじめ床から25mm～40mmの高さに切断してください。